

私たちの町の文化財

速報！上代遺跡

■第12話 最後の速報！

気づけばこのコーナーで上代遺跡の調査を紹介し始めて、早いもので1年が経とうとしています。木で作った道具や馬の骨、井戸や鉄の鍬(やじり)、石の斧に桃の種。途中で現地説明会や発掘体験の様子も報告させていただき、読者の皆さんに私達の仕事ぶりをアピールしました！

私がなぜこんなに感傷に浸っているかといいますと、実は今回が最後の掲載となってしまからです。非常に残念でなりません。ですが、今回の掲載に間に合わせたかのように珍しいものが出土しました。それは木で作られた腕輪です！しかも約2000年前の弥生時代のもので、この時代のものではっきり腕輪といえるものとしては熊本県では初めての出土ではないかと思われます！

そしてもう一つ報告があります！12月4日(日)に再び現地説明会を行うことが決まりました！今まで紹介した馬の骨や木の道具・上記の腕輪はもちろん、木で作られた鎧(あぶみ)(馬につける装具)や2000年前の川の跡、大きな四角い溝など、今まで紹介しきれなかったものや現地でしか見ることでできないものをぜひ見に来て下さい！紙面では伝えることの難しい遺跡の空気というものを、直接肌で感じて頂ければ幸いです。

熊本市文化振興課 芥川 太郎氏

二千年前に作られた
木の腕輪、よほど埋ま
っていた地中の塩梅が
良かったのかな。

